



<VOL92 2015.8>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長	Wichian Boonmapajorn
アジア地域会長	Edward K.W.Ong
東日本区理事	渡辺 隆
北東部長	中川 典幸
もりおかクラブ会長	大関 靖二

「信念のあるミッション」
「愛をもって奉仕しよう」
「原点に立って、未来へステップ」
「今と原点を融合して未来へ」
「明るく、楽しく、いきいきと、生かそう経験、感謝の心で」

今月の聖句 マタイによる福音書5章3節

「心の貧しい人々は、幸いである。天の国はその人たちのものである。」

会長	大関 靖二
副会長	井上 修三
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	小川 嘉文
メネット	井上 優子

平成27年9月第一例会のご案内
日時 平成27年9月12日(第2土曜日)午後6時30分
場所 きのえね 会費2,000円
卓話 現在検討中
第二例会 平成27年9月18日(第3金曜日)
場所 十割そば。

大関会長巻頭挨拶



大関会長

今年のお盆は暑かったですね。しかし夏は暑いほうがいい！真夏の太陽の下、汗をかきながらゴルフ最高です。雨が降れば室内競技のポーリングです。今年の夏は知力を使わず体力勝負でした。政界も暑い季節がきています。盛岡市長選。市議会議員選挙があり、20日からは県知事選です。

知事選は対抗馬が突然の辞退で、あつけない幕切れとなりました。引き続き県議選も始まります。われわれは貴重な一票の権利を行使し義務を果たしましょう。それにしても議員定数の多いこと、半分で十分な気がします。

8月23日盛岡 YMCA リーダーキャンプの打ち上げがあります。リーダーの皆さんをねぎらって来たいと思います。毎回 YMCA ニュースを見させてもらっていますが、リーダーたちのお陰で子供たちがのびのびと楽しんでいる様子がよく分かります。もりおかワイズとしても出来る限りの応援をしていきましょう。7月25日の北東部の第一回評議会も終わり、部としての方針も決まり

ました。クラブとしての目標方針も決まり、今年も楽しく実りある年としていきましょう。

8月納涼例会のご報告

平成27年8月8日、南大通「大吉」にて、納涼例会を行いました。大関、長岡、小川、三上、三田、井上。井上優子、濱塚真美、(敬称を省略) ゲスト、森本晴生さん(東京むかでクラブ)9名の参加でした。暑い日が続く、ばてぎみの体ですが、お盆まであと1週間もうすぐ夏は終わります。ゆく夏を惜しんで納涼例会を楽しみました。むかでクラブの森本さんが参加して下さり嬉しかったです。



森本晴生メン

森本さんありがとうございました。広い部屋の片隅で、9人の宴会は少ないながらも盛大に楽しく始まりました。さっさと、一通りのメニューをこなし、納涼会スタートです。どんな時も、お酒の席では大関メンを中心に回ります。今夜も大関メン絶好調です。森本さんと三上、三田両名は初対面、盛岡をこよなく愛する森本さん、年間4回は来盛すること、盛岡には「新渡戸基金」という団体がありその理事をしている事、東京の「新

渡戸文化学園」の学園長先生であることや、もりおかクラブとも深くお付き合いしている事などを説明。二人とも、「そうですか、よくおいで下さいました、よろしくお願いたします。」初対面でも、すぐに打ち解ける事ができるのが、ワイズメンズクラブの良いところ。そして、久々の登場は、濱塚メンのメネット、真美さんです。宮古ボランティアセンターの対応で毎週土日は宮古に出張の濱塚さんに代わり出席していただきました。みなさん、毎日のお仕事ご苦労様です。ワイズの仲間との時間は、ストレスの発散にはおおいに役立ちます。飲んで語って、いいお酒ですね。楽しい夜は、涼しい夜風とともに更けていきました。



納涼例会集合写真、井上さんはどうした？帰った？



アジア地区大会開催、 参加しました。 井上修三メン



井上修三メン

平成27年7月31日～8月2日まで京都で開催されたアジア地区大会に優子メネットと二人で参加してきました。

会場は東山区三条蹴上(けあげ)の創業100年を誇る、ウェスティン都ホテル京都。外国人が圧倒的に多くびっくり。ホテルの西棟を借り切ったの大会は圧巻。

① 31日新発見。高瀬(岩国みなみ)メンの圧倒的人気が単に理事を務めたからではないことを認識。販売ブースにメンのお宝がずらりとそろい(とはいえ内心大丈夫?)ファミリーで取組み、半日でほぼ完売。岩手から8種類80ケの菓子を完売できたのも高瀬ファミリーの力によるもの。「これぞワイズの神髄」とただただ感心！感心！感心！毛利衛様の講演を聞くことができたのもメンの心遣いによるものでした。感謝！わが家の息子と変わらない年齢とは思えないとメネット感心することしきり。



② 1日午前中分科会CS部門で仙台青葉城加藤メンと共に東

盛岡 YMCA、リーダーたちのキャンプ打ち上げ会

8月23日、今年の夏休みのキャンプが終了したことを受けて盛岡 YMCA のボランティアリーダーとスタッフのキャンプ打ち上げ会を行いました。総勢30人はいたなあ。ワイズからは井上、井上優子、大関、三上、小川、長岡が参加。

今年から新加入したリーダーたちが大勢いました。各自リーダー一名をもらって、本名よりリーダー一名で挨拶をしてくれました。長岡は年のせいか、名前と顔が一致するまで最低4回はコンタクトしないと覚えられません、あしからず何回も名前を名乗ってくださいね。

若いエネルギーというものはいいですね。疲れを知らず、キャンプの企画運営、子供たちとの交流。実際は楽しいだけでは済まないことも多々あったはず。そんな困難の一つ一つを乗り越えて頑張ってきたんだよね。盛岡 YMCA を支えているのは間違いなくあなた方です。ワイズのおじさん、お婆さんはそんなあ

日本大震災報告をすることとなり、プログラムに残ることに。私は宮古VCについて報告させていただき、濱塚総主事に感謝をすることに。(彼は今頃孤軍奮闘)

午後のオプションツアーで比叡山延暦寺を訪れ、20分の座禅を体験。猛暑の最中でしたが、ここは空気が違い、大満足。猛暑でかすんでいるとはいえ、琵琶湖を眺める機会にも恵まれ嬉しいことでした。因みに坐禅の基本は「心・息・身」病み上がりの身に「具合が悪くなったらどうすればよいでしょうか？」と質問を投げた私でしたが、なんと気持ちの良かったこと。経験してみるものです。

懇親会はこれまた、高瀬ファミリーは浴衣姿で雰囲気盛り上げに一役を果たしていました。

ユースの即興とは思えないパフォーマンスに感心をし、ダンスタイムでは老若男女がフローアに繰り出し、アジア大会は賑やかに過ぎてゆきました。基本的に英語での進行でしたが、西日本区の人材の豊富なことには驚きました。

毛利衛様の講演で印象に残ったのは「絆」という言葉は英語で一言で表すことができないとお聞きして改めて日本語の良さ、深さを認識したことでした。日本人として誇りとしたところです。京都パレスクラブを中心とした皆さんありがとうございました。富士五湖クラブ 望月メンがエルマークロー賞を獲得した事に心から祝福を送ります。

なた方が大好きです。これからも盛岡 YMCA と集う子供たちの事よろしくお願いたします。

お酒も入り、おおいに盛り上がったところでお開きになるのですが、最後に井上さんがメッセージを送ったときでした、あんなに盛り上がったみんなが、井上さんのお話に集中して一言も聞き逃さないという姿勢にまた感動しました。お行儀のよさも兼ね備えて、「ん、君たちはすばらしい。盛岡 YMCA はこれからも大丈夫だ。」すばらしい夜をありがとう。



「ズリテン盛岡DAON」

もりおかクラブの状況報告

8月の出席率	7/12	58 %	ゲスト0名	ビジター1名		
メーキャップ	1	名		8月切手	35 g	累計 0 g
8月のにこにこ		円	累計 0 円	8月プルタブ	150 g	累計 150 g
8月 石鮓	6,942	円	累計 6,942 円	りんご	0 円	累計 円
8月震災募金	0	円	累計 0 円	ファンド合計	6,942 円	

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会長兼会計 大関 靖二

8月のハッピーバースディ 8/2 古澤 メン 8/29 井上メン 誕生日おめでとうございます。

三陸海岸「カキ」が結ぶフランスとの交流

2011年6月、東日本大震災から3か月経過した時期でした。被災地ではやっと被害の概要を把握はしたものの、復興へ向け何から手を付けていいやら考えがつかない中、「今、カキの仕込みをしなければ次の収穫に間に合わない。」と、フランスのカキ生産者から、養殖用具の提供の申し出がありました。この時期になぜフランスのカキ生産者が援助の申し出をしてくれたのでしょうか。

生ガキを好んで食するフランスでは、日本と同様にカキの養殖が盛んです。しかし、1960～70年代に疫病がはやり、カキが絶滅に瀕する被害を受けました。その際に三陸のカキが持ち込まれ、フランスのカキ養殖業を救ったという歴史があります。今ではフランスのカキはそのほとんどが宮城県産の真カキの子孫だということです。なんと宮城県産のカキは病気に打ち勝ちどんどん成長してくれたそうです。その恩返しの意味を込めて、フランスの漁具メーカーやフランス最大手の運送会社、フランスのカキ産地の養殖組合や商工会議所が参加し、ブイやロープなど養殖に必要な約12トンの資材をフランスから空輸し、被災した養殖・漁業関係者に手渡しました。この活動がフランス政府及びフランス財団からも注目され、20万ユーロの公式な支援が始まったのです。これを「フランスお返しプロジェクト」と言いました。

確かに、三陸沿岸のカキ養殖はいち早くその姿を復活し復興の一番星のようでした。このことを知ったのはつい最近の事です。テレビ番組でフランスはカキを生で食する文化がある。特にクリスマス料理と言えば、七面鳥よりも断然カキであると言っていました。ほとんどの場合、貝を開いたままの一粒カキで食べるそうです。日本では山田町大沢の一粒カキが有名ですが、さすがフランス食べ方も高級感があり、上品ですね。



養殖かきいかだ



一粒かき

震災直後の養殖用具の提供ですから、受け手の体制が整っていないくて、コーディネートの方々は大変苦労したそうです。また、日本とフランスでは養殖の方法が違うため、「なぜロープが必要なの？」養殖資材の違いにわざわざフランスまで行って、日本の養殖方法を説明したそうです。仕込みの時期を逃せば1年復興は遅れるということで、資材は空輸しなければ間に合わない。多額の運送代金が問題になったりしたそうです。時間がない状況下、資材を取りそろえ、輸送も含めて丸抱えでフランスの各関係者が全力で支援を行ってくれました。

カキと言えば広島が日本一の生産量です。三陸のカキ生産量は広島半分の半分にも満たないのですが、三陸のカキは品質の面において間違いなく日本一でしょう。この三陸のカキを震災直後復活に動いてくれたのは、フランスでした。フランスは三陸のカキを食べている。津波でなくなったカキの復興にフランスが力を貸してくれた。こんな事実を知らなかったことが、すこし恥ずかしかったです。みなさん、カキを食べるときフランスとの繋がりを思って、フランスに感謝して食べてみてはいかがでしょうか。心がほっこりする話題でした。

おお、桃太郎さん。

8月22日 初代宮古ボランティアセンター所長の池田さんのご尽力により、西宮の合唱団『アンサンブル・シルフィード』の皆さんが岩手にいらっしゃいました。池田さんが来宮するのは3年ぶりかな、宮古ボランティアセンターは意志を引き継ぎ頑張っています、ようこそ、ありがとうございます。



立教大の学生と仮設住宅で暮らしておられる中村さん宅を訪問。宮古の歴史について貴重なお話をお聞きました。いい笑顔です、あなたとお会いするだけで元気が湧きます。

昭和35年のまだ～、盛岡バスセンター

鉾屋町に出来た、「町屋物語館」は展示物が昭和のもので懐かしさに感動しましたが、なんと、昭和の時代のまま現在も営業している場所を発見しました。「盛岡バスセンター」です。国道106号線と旧国道4号線の交差点の角に盛岡バスセンターはあります。過去に何回も再開発で解体の予定が出ては消えて、現在も昭和35年当時のままです。待合室の長椅子、狭すぎる乗降



口、対面での切符販売、お年寄りにはぜったい使えない操作が難しい自動券売機。

そしてなによりレトロ感が漂うのは、お店の商品展示や看板、食堂のメニュー(メニューじゃないよね値段表ですね。)いまどき「中華そば」って他で見ることありますか？食べましたよ、この中華そばは、盛岡で2番目に美味しいと思います。そして「サクマのドロップ」がショーケース？の中に、出してもらわないと買えない。そ



んなに高級なお菓子ではないでしょう。そもそもサクマのドロップはコンビニでは見たことがない。袋詰めのお菓子は水平に平積みですし、どこに売り子の店員がいるのかよく見えないし。ふと見上げた頭のうえの看板、「フルヤのキャラメル」「みつわのパン」「明治スカット」「でんろミックス」、本当にその商品をうっているの？看板は蛍光灯が、

編集後記

今月もこんなにスペースが、迫る月末発行日までに2日くらいゆとりがあれば、何か記事をかけるのですが、時間が無いこの時期ではもう記事を追加するのは無理ですね。

現在宮古ボランティアセンターはスタッフレスで運営しております。しかし、需要はおおいにありますので、盛岡YMCAの濱塚総主事が毎週末、宮古に出張をしております。休みが無くて大丈夫でしょうか、すこし心配です。

井上さんは、病気がかなり回復してきたようです。第二例会でビールをおいしそうにいただいております。それにしても大関さんは元気ですね。東日本大会後に耳の不調を訴えてしよげて

ひかり、現役バリバリ。時計屋さんの奥には、暇そうな店主が腰かけてお客さんを待っています。学生割引や修理もやっているようです。セイコー、シチズン、カシオは無いのね。街角の時計屋さんがそこにはありません。

大学芋って知っていますか、ふかしたサツマイモに砂糖を絡めてごまをまぶしたおやつです。これが店頭で販売しているのを最近は見ることがありません。しかしここにはあります。一個50円、10個パックを買っても500円、安い！お土産に会社へ持ち帰ったら、なんと大人気。あつという間になくなりました。美味しいのでした。昭和だ、レトロだと言っても、美味しい中華そばや、おやつ、きっと近所の皆さんや乗降客には受け入れられているでしょう。だからここで営業をしていけるのでしょう。貴重な存在になっています、盛岡バスセンターはきっと近い将来姿を消すはずです。今の内に現代の昭和を思う存分味わっておかないと損ですよみなさん。



売店の通路



お菓子の平積み



バスを待つ乗客も田舎の雰囲気がかんぱん、いいですねえ～、時間が止まっている

いた頃が信じられません。うれしい限りです、崇江さんがリタイヤしたあとお二人にはまだまだ頑張ってもらわないと、よろしくお祈りしますね。

バスセンターの光景はあまりにも自然なたたづまいでしたので、何が？と感じました。実は東京から来た友人が「なんだここは、いったいいつの時代だ？」びっくりしたものですから、私もはっと気が付いて、特集した次第です。日常の中に宝物が眠っていることに気が付かない典型でしょう。夫婦関係も、まんねりでは絶対いけません。このことから夫婦関係に持っていくところが私のいいところ。お恥ずかしい。それではみなさん、また来月お会いいたしましょう。

長岡

